

2020年5月8日

報道機関 各位

被爆75年企画「核・コロナ・気候変動－問題の根っこにあるもの」 について（お知らせ）

核兵器廃絶長崎連絡協議会（長崎県，長崎市，長崎大学で構成）からの被爆75年企画のお知らせです。タイトルは，対談シリーズ「核・コロナ・気候変動－問題の根っこにあるもの」で，企画の実施は長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）が担当いたします。

気候変動危機が強く意識されるようになったタイミングで，コロナ（新型コロナウイルス）危機がグローバルに拡大し，地球上のどこにも逃げ場のないリスクが存在することを印象づけました。核兵器のリスクも定常的に存在しています。そこで，RECNA 教員と様々な分野の有識者との対談を通じて，核，感染症，気候変動といった国境横断的な危機の「根っこにある課題」を考えてみることにしました。

RECNA 教員の対談相手（予定）は，田上富久・長崎市長，山本太郎・長崎大学教授（熱帯医学研究所・国際保健学），安田二郎・長崎大学教授（感染症共同研究拠点準備室長・ウイルス学），高村ゆかり・東京大学教授（国際法・環境法），佐藤優氏（作家）ほかの皆さまです。

対談の動画は6月上旬から8月9日までの間に順次，核兵器廃絶長崎連絡協議会のWEBで公開していきます。公開時にはその都度，プレスリリースにてお知らせいたします。

※本企画の動画制作に関して，見積もり合わせ用の業務仕様書を核兵器廃絶長崎連絡協議会のウェブに掲載しております。

URL https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu/75th_project

長崎のテレビ放送各社におかれましては，ご覧の上，ご検討願えればと存じます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶長崎連絡協議会（PCU-NC）

TEL. 095-819-2255

E-mail : pcu_nc@ml.nagasaki-u.ac.jp